

# 感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

2023年第33週 (8月14～20日)

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

## ●全数報告の感染症 (1～5類感染症)

(今週の報告数/累積。累積は2023年第1週から)

疾患名	報告数	累積
<b>[1類]</b>		
(報告なし)		
<b>[2類]</b>		
結核	230	8732
<b>[3類]</b>		
コレラ		1
細菌性赤痢		24
腸管出血性大腸菌感染症	131	1943
腸チフス	1	27
パラチフス		6
<b>[4類]</b>		
E型肝炎	4	374
A型肝炎		33
エキノコックス症		9
エムボックス <sup>1)</sup>	1	187
オウム病		7
回帰熱	1	14
コクシジオイデス症		1
重症熱性血小板減少症候群	3	108
チクングニア熱		2
つつが虫病	1	109
デング熱	5	65
日本紅斑熱	13	240
日本脳炎		1
ブルセラ症		1
マラリア	1	12
ライム病		18
レジオネラ症	34	1336
レプトスピラ症	2	10
<b>[5類]</b>		
アメーバ赤痢	13	318
ウイルス性肝炎 <sup>2)</sup>		158
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 <sup>3)</sup>	39	1163
急性弛緩性麻痺 <sup>4)</sup>	2	40
急性脳炎 <sup>5)</sup>	4	343
クリプトスポリジウム症	1	6
クロイツフェルト・ヤコブ病	3	97
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17	535
後天性免疫不全症候群	9	609
ジアルジア症	1	31
侵襲性インフルエンザ菌感染症	9	358
侵襲性髄膜炎菌感染症		11
侵襲性肺炎球菌感染症	25	1147
水痘 (入院例に限る)	7	245
梅毒	168	9482
播種性クリプトコックス症	2	109
破傷風	2	68
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	80
百日咳	14	595
風しん		10
麻疹		22
薬剤耐性アシネトバクター感染症		11

1) 2023年5月26日よりサル痘から感染症法上の名称が変更。2) E型肝炎およびA型肝炎を除く。3) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から感染症法上の名称が変更。4) 急性灰白髄炎を除く。5) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

## ●定点把握の5類感染症

(「定点当たり」は報告数/定点医療機関数)

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ <sup>6)</sup>	4913	1.01
新型コロナウイルス感染症	86756	17.84
RSウイルス感染症	2492	0.81
咽頭結膜熱	1952	0.63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2561	0.83
感染性胃腸炎	6579	2.13
水痘	289	0.09
手足口病	2239	0.73
伝染性紅斑	30	0.01
突発性発しん	603	0.20
ヘルパンギーナ	2873	0.93
流行性耳下腺炎	109	0.04
急性出血性結膜炎	4	0.01
流行性角結膜炎	325	0.47
細菌性髄膜炎 <sup>7)</sup>	10	0.02
無菌性髄膜炎	20	0.04
マイコプラズマ肺炎	13	0.03
インフルエンザ (入院患者)	146	—

6) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。7) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

## ●定点把握の対象となる5類感染症

(前週からの定点当たりの増減と多い地域)

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	↓	沖縄、宮崎、熊本
新型コロナウイルス感染症	↑	岐阜、岩手、秋田
RSウイルス感染症	↓	高知、山形、福島
咽頭結膜熱	↑	大阪、福岡、兵庫
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	鳥取、福岡、沖縄
感染性胃腸炎	↓	大分、香川、熊本
手足口病	↓	島根、佐賀、新潟
伝染性紅斑	↓	岩手、富山
ヘルパンギーナ	↓	山形、北海道、岩手
流行性耳下腺炎	↓	和歌山、鹿児島
マイコプラズマ肺炎	↑	石川、青森、福井、兵庫

### ◆レプトスピラ症の国内感染例 (東京都)

都内の惣菜店の従業員が、レプトスピラ症の国内感染例と診断された1例。海外渡航歴はなく、6月上旬に職場で廃棄予定の生の鶏肉を素手で処理したこと、ネズミが出没する惣菜店での業務が感染の原因と考えられた。レプトスピラ症は、無症状例から黄疸や腎不全、肺出血を伴う重症例まで臨床像は多彩である。